

県民の森だより 2 2020 月号



仙台東警察署長様より、警察活動貢献の感謝状を頂きました。

発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

今年は大寒を過ぎて、暖冬が続き積雪も少なく穏やかに『立春』を迎えております。植物たちもこの陽気に誘われて早々に新芽を覗かし始めて来ています。少し防寒対策をされ、今までになく早い『森の息吹き』を体感されては如何でしょうか。皆様のおしをお待ち致しております。(所長：蜂谷仁)



アスレチック・少しずつ修理しております

アスレチックの老朽化に伴い、傷んだ部分の補修作業を



順次行っております。ご利用の皆様には大変ご不便をお掛け致しますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

※作業中以外のアスレチックは、通常通りご利用頂けます。

木のちょっときーになる話

～ vol.4 何？この枝ぶり？～

園内を散策していた時、枝ぶりがちょっと変なエゴノキに気付きました。数本の株立ちで、ある幹から伸びた枝が、隣の幹に接触しそのまま癒着結合した不思議な枝ぶりの木です。

このような木は、連理木(れんりぎ、れんりぼく)と呼ばれ、自然界では、少なからず見られます。一つの枝が他の枝と連なって、理(木目)が同化した様が吉兆とされ「縁結び」「夫婦和合」のシンボルとして信仰の対象になっていて、各地の神社に名木として祀られていると言う事です。

近くでは、大衡村の昭和万葉の森でも見られますが、県



民の森にもあった事と、注意して見れば「連理化の途中」のような木がある事にも気づきました。青少年の森裏手、尾筋筋「緑の少年団」植樹地の遊歩道沿いにあります。ぜひ、探してみてください。(工藤)

今月の けんみんのもり写真館

スタッフが見つけたしぜんのひとコマ



ウワミズザクラ(バラ科)
上溝桜

樹皮：やや紫色を帯びた暗い褐色で、横向きの小さな皮目が多く、網目状に裂け、縦にひび割れが見られる特徴があります。

果実は食用になり、果実酒にも利用されます。また、果実は鳥やクマも大好物です。(駒野)



エゴノキ(エゴノキ科)
別名チシヤノキ、回クロギ

樹皮：黒っぽい色が特徴で、林の中でも黒さが目立ちます。縦に浅い掛目があり成木は細かな凹凸が目立ちます。

植物が食害などから身を守るために持つ毒素には、人にとって有用な物質があります。そのひとつ、エゴサポニン(昔、石鹸として使用されていました。(駒野)



ウリハダカエテ(ムクロジ科)
瓜膚楓

樹皮：若木から成木では、幹肌に緑色の黒い縦すじが入り、ひし形に裂ける皮目がちらばり特徴的で、昔食べたマクワウリの肌が連想されます。しかし、年数を経るにつれて緑色は失われ、皮目は目立たなくなります。(駒野)



ホオノキ(モクレン科)
朴の木、別名ホオガシワ

樹皮：平滑で白っぽく、丸い皮目が点在します。この皮目がいぼ状に目立ちます。また、薄い縦すじ入ることもあります。枝や葉が大きく一見してすぐわかります。本種はモクレンの仲間、花は大きく起源が古い種のしるしといわれています。(駒野)



シシガシラ(シシガシラ科)
獅子頭

木陰のやや湿った斜面に生え、斜面方向に垂れ下がる傾向があることから獅子のたてがみに見立てて名前が付けられました。栄養葉と胞子葉があり、栄養葉を地面近くに放射状に広がります。葉軸の上面に溝があります。(千葉)



エビフライ?

リスがアカマツの松ぼっくりを食べた食痕です。リスは松ぼっくりの柔らかい部分(種子)のみを食べて固い部分の芯を食べ残した結果、エビフライそっくりな形になります。

秋から冬の季節、アカマツの下を探すと見つかるかも知れません。(千葉)

イベントのスケジュールなどは裏面「2月・3月のイベント情報」をご覧ください